

## 8-1-7 白書委員会

## 令和3年度「白書」の目次構成

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 白書委員会等の開催

対外活動・白書合同委員会開催回数：4回

白書委員会WG開催回数：4回

新型コロナウイルス感染症対策のため、委員会等の開催は、Web会議およびメール審議にて実施した。

#### (2) 活動の目的

建設コンサルタントを広く国民一般に認識・理解してもらうことを目的に、「令和3年度建設コンサルタント白書」を作成する。

内容は、建設コンサルタントおよび協会の概要、建設コンサルタントを取り巻く状況、求められる役割とその多様性、および課題と今後の方向性とし、最終章に建設コンサルタント協会の活動を報告する。

なお発行済みの令和2年度「白書」では読みやすくするため、従来200ページを超えていたものを約100ページまでコンパクト化を行った。

### 2. 白書の作成方針

令和3年度「白書」作成の基本方針は、以下のとおりとする。

- (1) 令和2年度「白書」の基本方針を継承する。
- (2) 協会活動の魅力を発信するため、協会で実施した提言活動や支部の若手活動なども本文に加えると同時に、トピックスも充実させる。
- (3) SDGsやDX、さらには新型コロナウイルス感染症対策などに対する協会の取り組みを発信する。
- (4) 発行時期は令和3年8月末とする。

### 3. 白書の目次構成

- (1) 令和3年度「白書」は令和2年度と同様、「要望と提案」との照合がとりやすい目次構成とする。
- (2) 令和3年度「白書」は、協会ホームページにも掲載する。

第1章	建設コンサルタントの概要
1-1	建設コンサルタントの概要
1-2	建設コンサルタンツ協会の概要
1-3	健全な企業経営に向けて
1-4	建設コンサルタンツ協会の活動方針
第2章	建設コンサルタントを取り巻く状況
2-1	建設コンサルタントを取り巻く状況
2-2	公共事業関係費の推移
2-3	建設生産・管理システムの変化
2-4	環境配慮の推進
2-5	海外事業環境
第3章	建設コンサルタントの役割とその多様化
3-1	建設コンサルタントの役割
3-2	役割の多様化
第4章	建設コンサルタントの課題と今後の方向
4-1	担い手の育成・確保
4-2	技術力による選定
4-3	品質の確保・向上
4-4	生産性の向上
4-5	災害対応への環境整備
4-6	適正な地位の確立
4-7	地域コンサルタントの活動領域の拡大
4-8	海外事業の現状・課題を踏まえた競争力の強化
第5章	建設コンサルタンツ協会の活動
5-1	建設コンサルタンツ協会の主な活動
5-2	災害支援活動
5-3	技術者教育とその継続
5-4	業界の将来を担う若手技術者の主体的活動

### 4. 執筆・編集体制

執筆担当委員は、項別に担当委員会から推薦を受けた。編集担当委員は、項別に白書WG委員から任命した。

### 5. 作成部数等

令和2年度「白書」の配付部数は、協会内部に700部、発注者に2,400部、RCCM更新講習会に6,000部の合計9,100部である。なお、協会ホームページにも「白書」の全文を公開した。

### 6. 次年度の活動について

令和4年度「白書」を作成する。さらに建設コンサルタント並びに協会の魅力発信ができるよう事務局および関係委員会と協働して、充実を図る。

(白書委員会委員長 吉津 洋一)